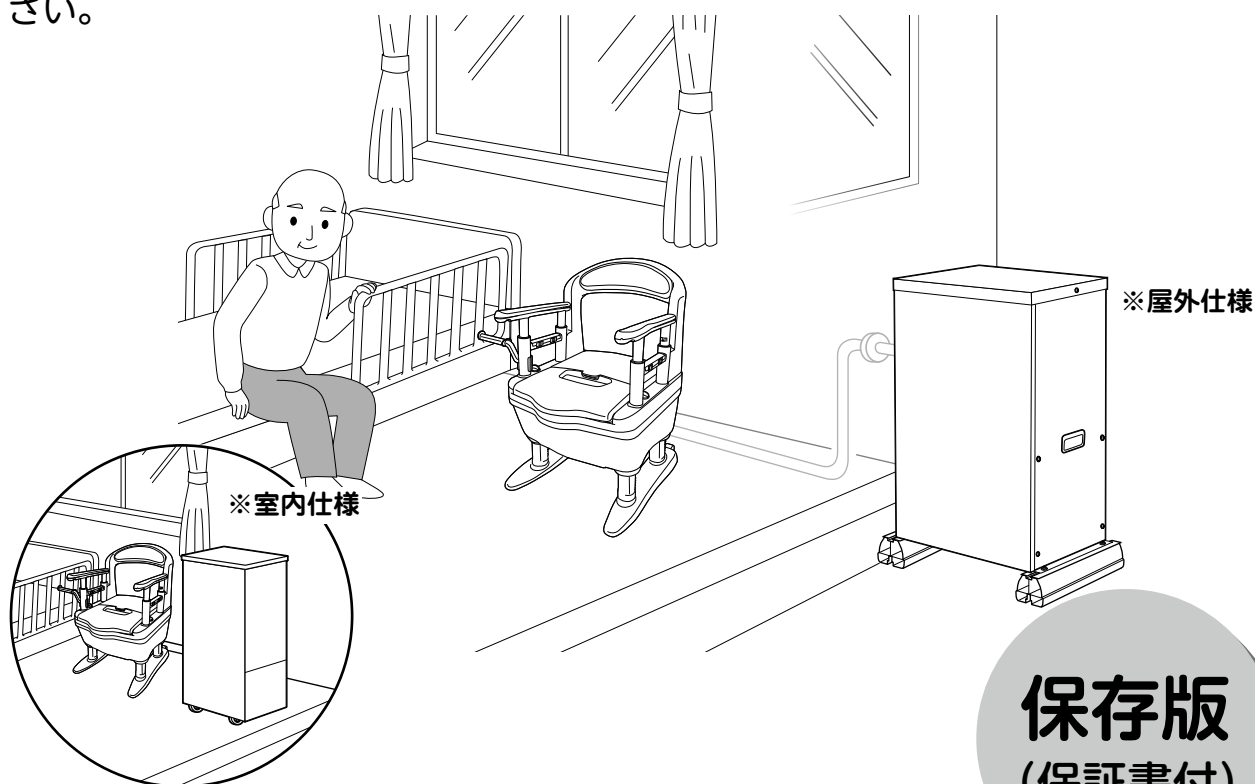


水洗ポータブルトイレ キューレット (樹脂製仕様)

最大使用者体重：100kg

このたびは水洗ポータブルトイレ キューレットをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この製品はトイレまでの移動が難しく、自分自身の力で排泄されたい方から介助を必要とされる方まで、快適で清潔にお使いいただけます。正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。





保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.


確認しましょう

もくじ


 確認しましょう

 安全上のご注意

 ご使用の前に

 使いましょう

 お手入れしましょう

 困ったときには



確認しましょう P.2～7

- ・梱包品の確認……………2
- ・各部の名称……………4
- ・商品寸法図と仕様……………6



安全上のご注意 P.8～14



ご使用の前に P.15～29

- ・ポータブルトイレ本体各部の調節をしましょう……………15
- ・ペーパーホルダーを取り付けましょう……………21
- ・便座シートを取り付けましょう……………21
- ・給水の準備をしましょう……………22
- ・排水の準備をしましょう……………24
- ・水洗スイッチの準備をしましょう……………28
- ・給水タンクに水を入れましょう……………28
- ・水洗の試運転をしましょう……………29



使いましょう P.30～35

- ・ご使用になる前に……………30
- ・使いかた……………31
 - 汚物の流しかた……………31
 - 本体の状態確認……………32
 - 給水のタイミング……………32
 - 汚物処理のしかた（室内仕様のみ）……………33
 - こんな使いかたができます……………34
 - ポータブルトイレの移動のしかた……………35
 - 冬季水抜き運転のしかた……………35



お手入れしましょう P.36～38

- ・お掃除のしかた……………36
- ・点検のしかた……………38



困ったときには P.39～42

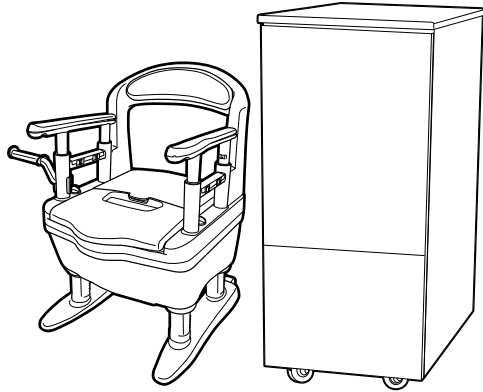
- ・停電時の対応……………39
- ・故障かな?と思ったら……………40
- ・保証とアフターサービス……………41

👉 確認しましょう

梱包品の確認

本体および付属品がそろっているかご確認ください。

真空ユニット 室内仕様

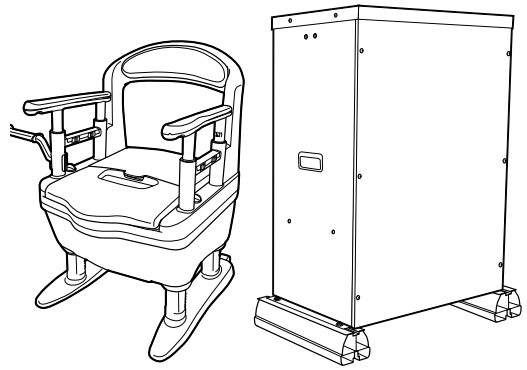


本体

真空ユニット
(室内仕様)

真空ユニット 屋外仕様

※屋外仕様の設置には排水工事が必要です。
必ずサポート店（販売店または当社指定工事店）へ
ご相談ください。



本体

真空ユニット
(屋外仕様)

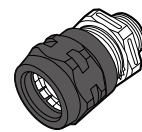
室内仕様



汚水タンク

※真空ユニット内に入っています。

屋外仕様



ホース継手

確認しましょう

！安全上の注意

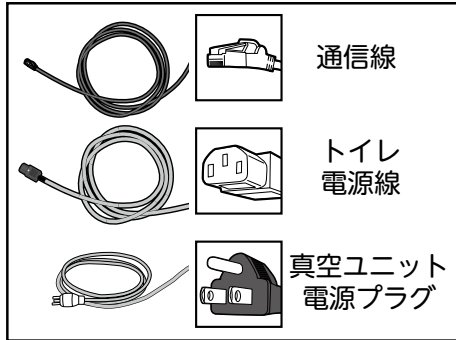
✖️ご使用前に

👉使いましょう

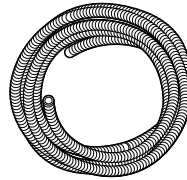
💧お手入れしましょう

？困ったときには

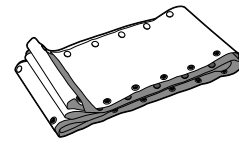
室内仕様、屋外仕様 共通



ケーブルセット

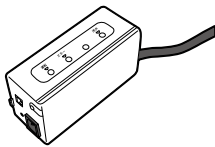


排水ホース



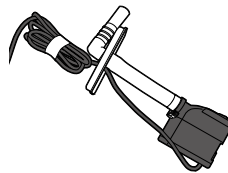
ホースカバー

緩衝材梱包



表示基板

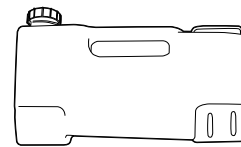
※洗浄水ポンプとコードで繋がっています。



洗浄水ポンプ

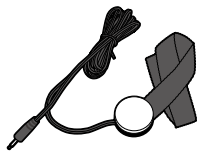
※表示基板とコードで繋がっています。

梱包(大)



給水タンク

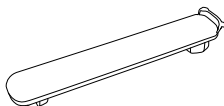
梱包(小)



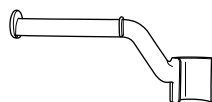
水洗スイッチ



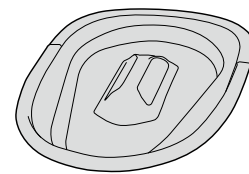
配管用クリップ



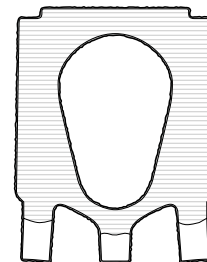
ひじ掛け穴カバー



ペーパーホルダー1個



便器蓋



吸着便座カバー

※便器蓋と吸着便座カバーは、本体便座下部にセットしています。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

👉使いましょう

👉お手入れしましょう

? 困ったときには

👉 確認しましょう

各部の名称 (ポータブルトイレ本体)

確認しましょう

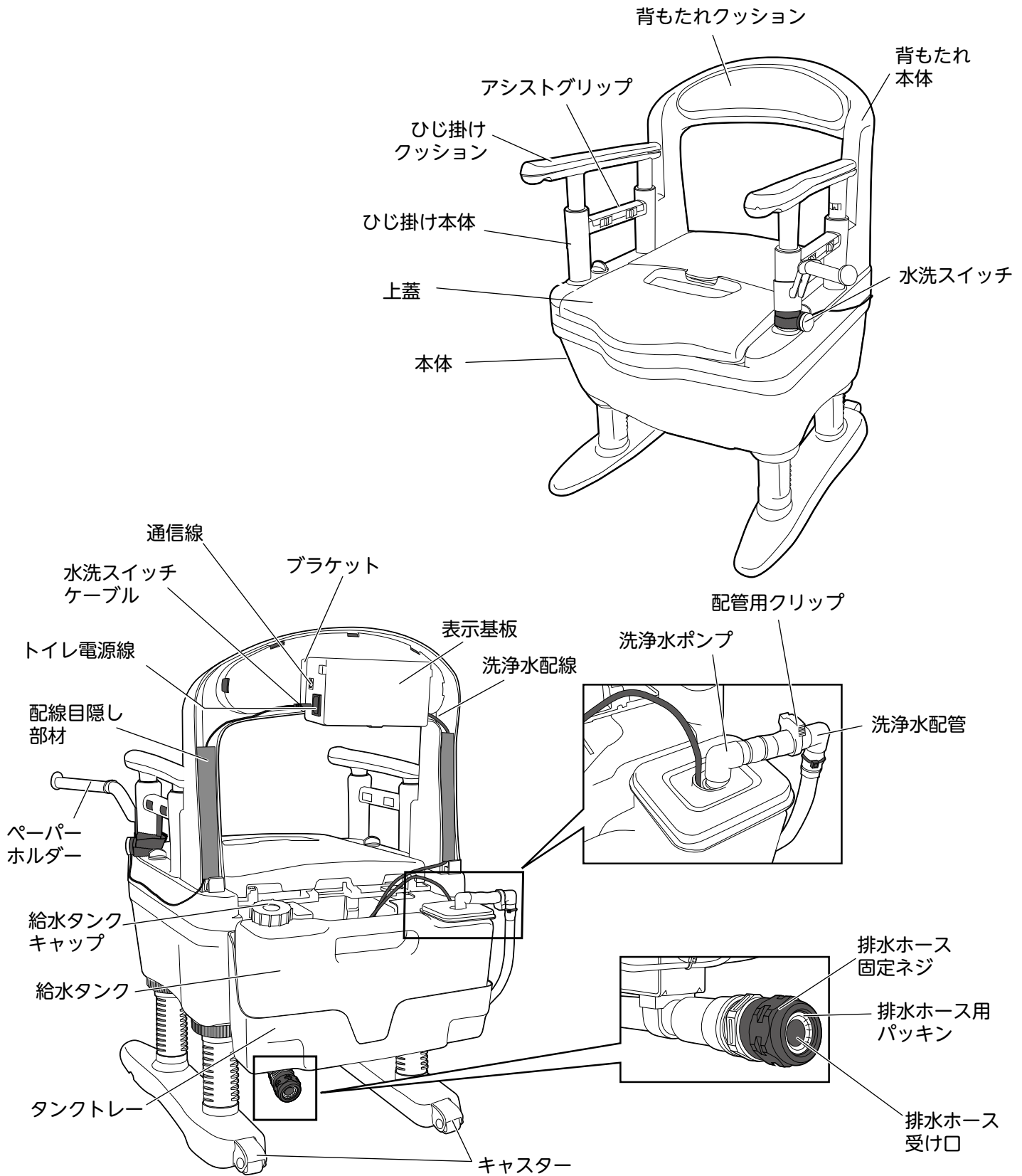
安全上の注意

ご使用前に

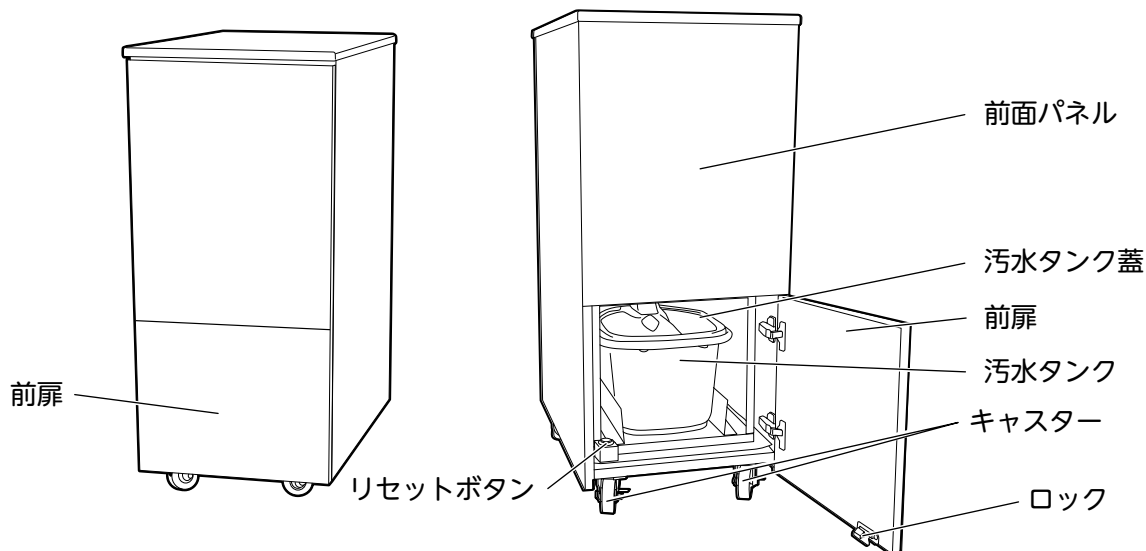
使いましょう

お手入れしましょう

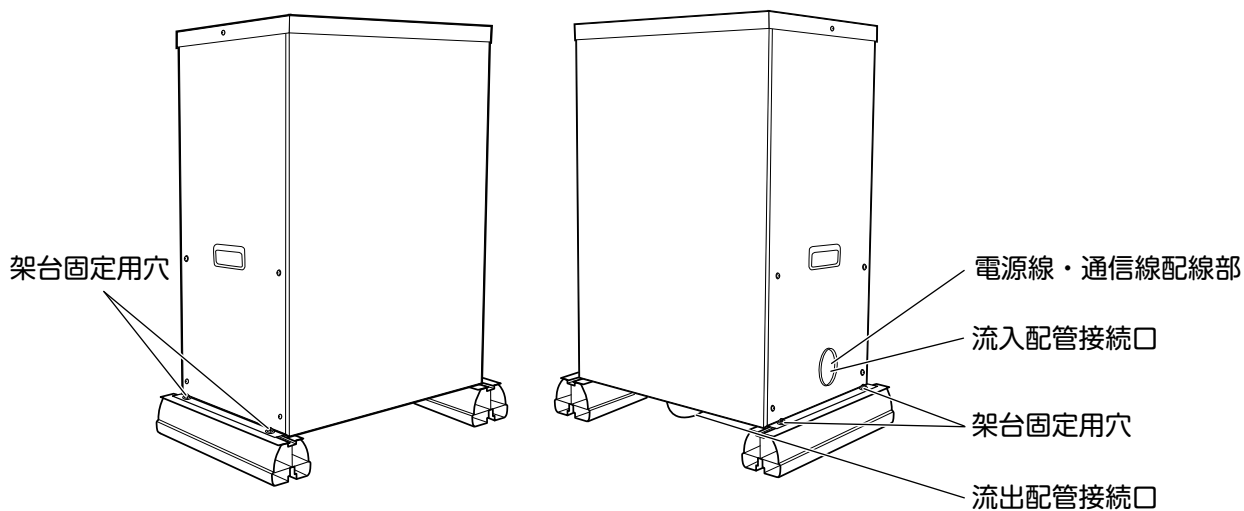
困ったときには



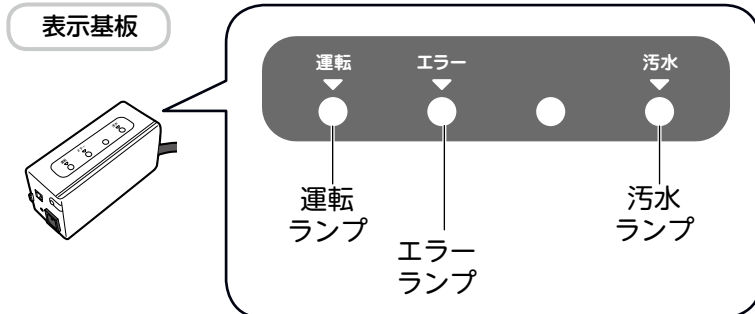
各部の名称 (真空ユニット 室内仕様)



各部の名称 (真空ユニット 屋外仕様)



各部の名称 (水洗スイッチ・表示基板)



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

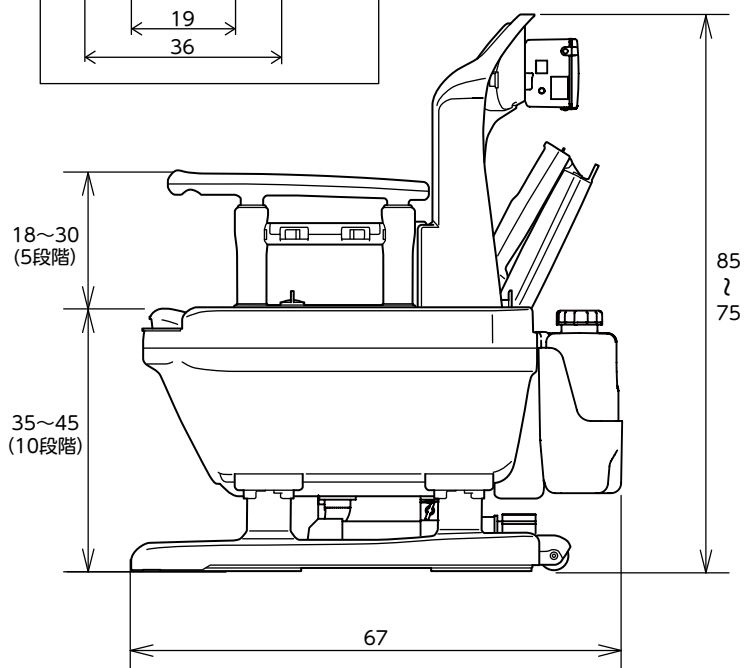
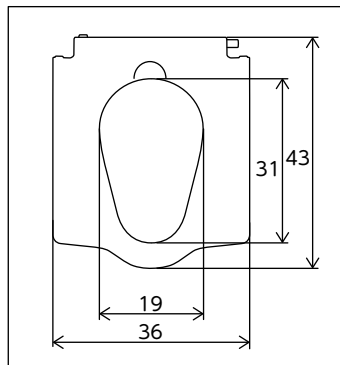
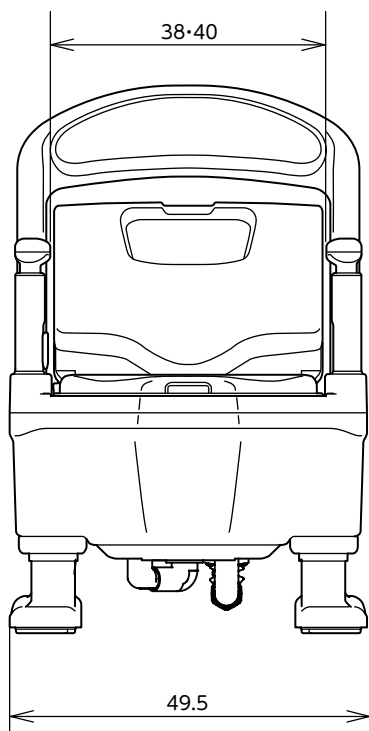
困ったときには

👉 確認しましょう

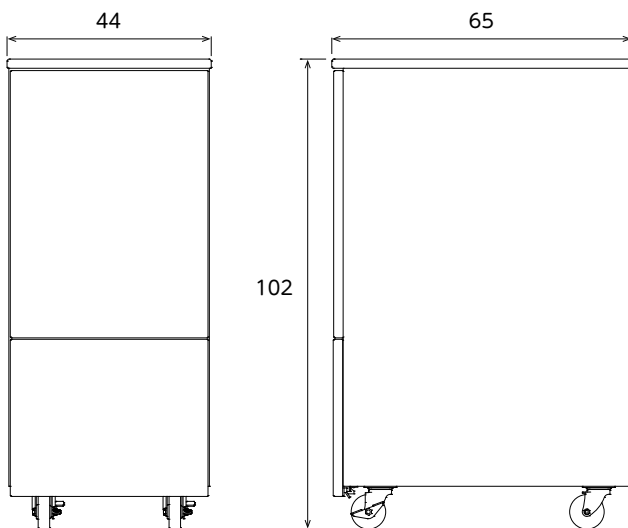
商品寸法図

単位：cm

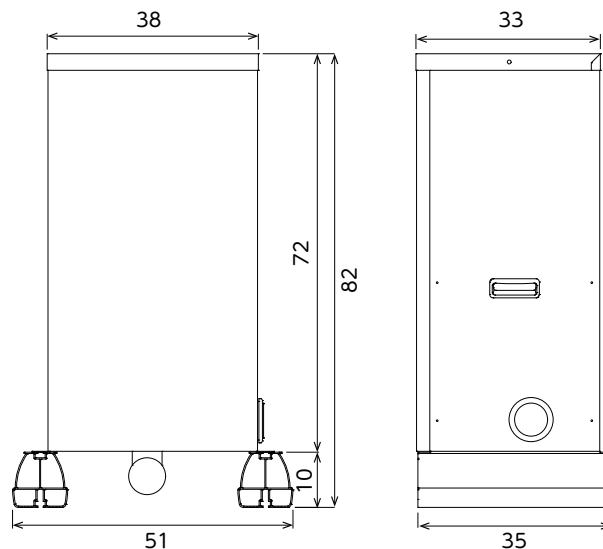
ポータブルトイレ本体



真空ユニット 室内仕様



真空ユニット 屋外仕様



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

仕様

品名		水洗ポータブルトイレ キューレット (樹脂製仕様)	
構成部材		部品名	材質
構成部材	トイレ 本体	本体・上蓋・背もたれ本体・本体便器・便器蓋・ペーパーホルダー・ひじ掛け穴カバー・表示基板ケース	ポリプロピレン
		ひじ掛け本体・角度調節プレート・脚部本体・脚部底板	ABS樹脂
		背もたれクッション・ひじ掛けクッション	EVA樹脂
		脚ゴム (先端・前・後)	エラストマー
		ひじ掛けベース	ABS樹脂 / ポリプロピレン (内部 ステンレス製バネ)
		便座	ポリプロピレン (抗菌加工)
		汚水受け	ポリプロピレン / 塩化ビニル樹脂
		排水ホース・タンクトレー	塩化ビニル樹脂
		洗浄水配管	塩化ビニル樹脂 / ナイロン / ポリプロピレン
		配管用クリップ	ポリアセタール
	給水タンク	ポリエチレン	
	真空 ユニット	汚水タンク・汚水タンクふた	ポリプロピレン
		汚水タンクふたパッキン	合成ゴム
		外装ケース	合板 / スチール
キャスター		合成ゴム / スチール	
サイズ	トイレ本体	幅 49.5 × 奥行 67 × 高さ 75 ~ 85cm (便座までの高さ 35 ~ 45 cm [1cm ピッチ])	
	真空ユニット	屋外仕様: 51 × 35 × 82cm 室内仕様: 44 × 65 × 102cm	
重量	トイレ本体	15kg	
	真空ユニット	屋外仕様: 約 38kg 室内仕様: 約 54kg	
定格	電源	交流 100V 50Hz/60Hz (共用)	
	消費電力	真空ユニット: (屋外仕様) 315W / (室内仕様) 320W	
給水タンク容量		5 リットル	
汚水タンク容量		10 リットル	
給水方式		ポンプ給水方式	
電源コード		屋外仕様: 20m 室内仕様: 3m	

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

ご使用の前に以下の部品がゆるんだり、外れたりしていないか、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること

- ・ 脚部固定ナット → ゆるむ ×
- ・ ひじ掛け固定ピン } → 外れる ×
- ・ 背もたれ固定ピン }

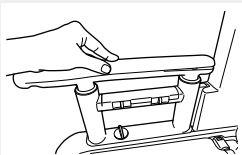
本体が不安定となり、けがの原因になります。

詳しくは…38 ページへ



ひじ掛けの高さを調整した後、しっかり固定されているか確認すること

ひじ掛けが固定されていないと、ひじ掛けが破損し、転倒やけがの原因になります。



本体に体を十分に近づけてから座ること

本体が離れていると浅座りになり、転倒やけがの原因になります。



車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること

ブレーキをかけていないと、車いすが動きだし、転倒やけがの原因になります。



各部の調節(高さ調節など)については、お買い上げのサポート店(販売店)かケアマネジャーなど専門家に相談すること

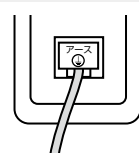


アースを確実に取り付けること

アース工事をおこなっているか確認する。アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。ガス管、電話線、避雷針、水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。アースの取り付け(D種設置工事)は、電気工事店またはサポート店(販売店)にご相談ください。

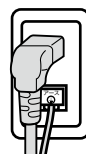


アース線
接続



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込むこと

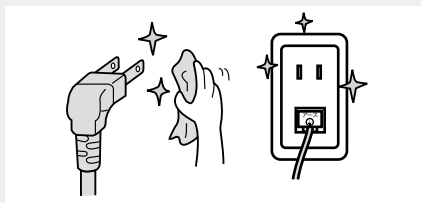
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。



しっかり
差し込む

電源プラグ、コンセントはきれいにする

電源プラグの刃および刃の取付面やコンセント差し込み部にほこりがついていない場合はよく拭いてください。火災の原因になります。



雷が発生しているときは電源プラグを抜くこと

故障の原因になります。



電源プラグ
を抜く



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

絶対に分解・修理・改造をしないこと



本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

分解禁止

故障したままで使いつづけないこと

故障とは…

- ・異音、異臭がしている
- ・製品が異常に熱い
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・製品から煙がでている …など

故障したまま使いつづけると、けがや火災・感電の原因になります。

すぐに使用を中止し、サポート店(販売店)に連絡してください。

介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと

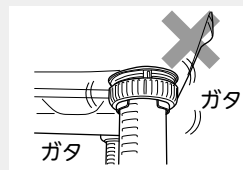
転倒や、けがの原因になります。

ふらつきがある方など



脚部固定ナットがゆるんだ状態で使用しないこと

本体から脚が外れ、転倒やけがの原因になります。



正常でない状態では使用しないこと

- ・両方のひじ掛けや背もたれを取り外している状態
- ・脚ゴムをはめていない状態
- ・脚を前後、左右入れ替えた状態
- ・脚の高さが左右で異なる状態
- ・角度調節プレートを外した状態

など、正常でない状態で使用すると、けがの原因になります。



体重が100kgを超える方は使用しないこと

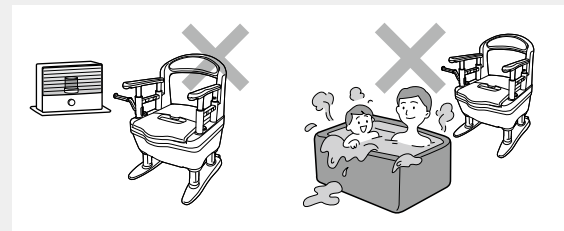
本体が破損し、転倒やけがの原因になります。



不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

- ・浴室内など湿気の多い場所
- ・ストーブ等火気が近くにある場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・床が平坦ではなく不安定な場所

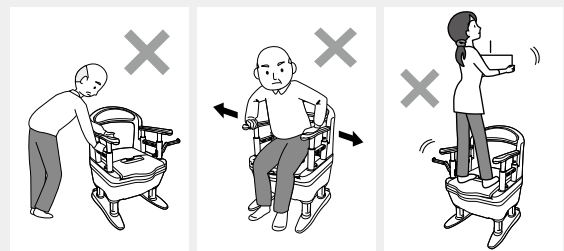
火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒やけがの原因になります。



製品に過度な力を加えないこと

- ・ひじ掛けや背もたれを移動時の手すり代わりにする
- ・立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- ・便座・上蓋の上に立つ
- ・製品を落とす
- ・上蓋やひじ掛けの上に腰かける …等

製品に過度な力を加えると、破損し、転倒やけがの原因になります。



確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

立ち座り時にペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと

転倒やけがの原因になります。



子どもを遊ばせる等、他の用途では使用しないこと



物をのせたまま移動させないこと

- ・人や物を座らせたまま移動させる
- ・便器に汚物や、給水タンクに水を入れたまま移動させる

けが、故障、破損、服や床を汚す原因になります。



電源は、交流100V以外では使用しないこと

交流 200V・船舶などの電源で使うと、火災・感電の原因になります。

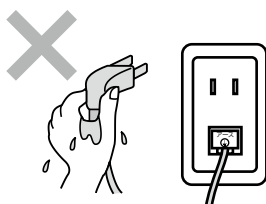
※テーブルタップ、延長コードを使用しない。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電やけがをすることがあります。



ぬれ手
禁止



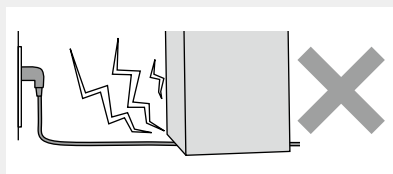
電源プラグ・電源コードを破損するようなことをしないこと

また、電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと

下記のことをおこなうと、電源プラグや電源コードが傷つきます。

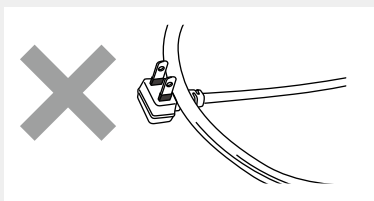
- ・重い物をのせる
- ・ドアのすき間などに挟む
- ・加工する
- ・折り曲げる
- ・熱器具に近づける
- ・電源コードを引っ張ってポータブルトイレを移動させる
- ・電源プラグを差したまま移動させる

電源プラグや電源コードが傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。



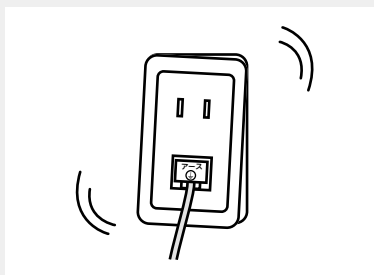
洗浄水ホースと電源プラグやコンセントを接触させないこと

結露などによる、火災や感電の原因になります。



ガタついているコンセントは使わないこと

火災や感電の原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



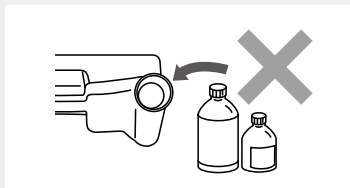
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

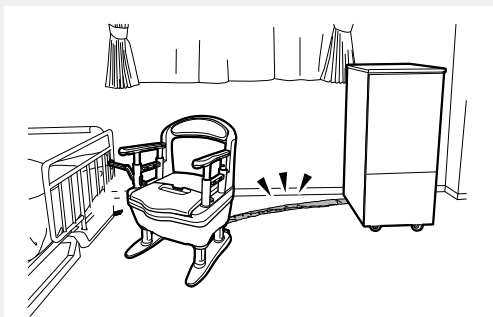
給水タンクに熱湯、消毒液、アルカリイオン水、芳香剤、薬品等、常温の上水道以外の水を入れないこと

やけどや皮膚の炎症を起こす原因、また故障の原因になります。



トイレの排水ホースは人の移動の妨げになる場所には設置しないこと

転倒やけがの原因になります。



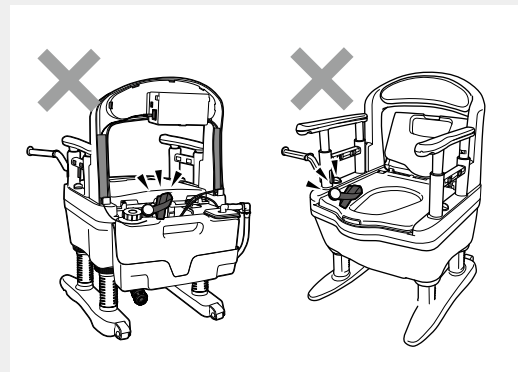
トイレの排水ホースは扉(ドア)などで挟まれる場所には設置しないこと

ホースが破損し、転倒やけがの原因になります。

【真空ユニット 室内仕様の場合】
汚水タンクを真空ユニットから取り出す際は前面パネルを引っ張らないこと
前面パネルを引っ張ると、パネルが外れて転倒やけがの原因になります。

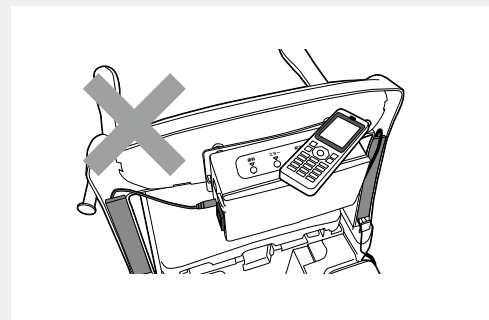
水の掛かる場所に水洗スイッチを設置しないこと

機器が故障し、けがの原因になります。



トイレ背部の表示基板に物を置かないこと

置いたものが落下しけがの原因、また表示基板の故障の原因になります。



真空ユニット(室内仕様)は台車等に乗せて移動しないこと

真空ユニットが倒れて、けがの原因になります。

確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



注意

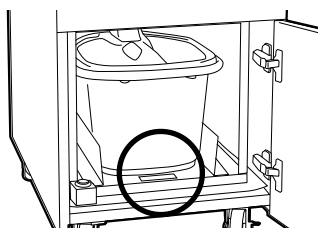
誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

真空ユニット 室内仕様の場合

汚水タンクを真空ユニットにセットする際は奥まできちんと差し込むこと

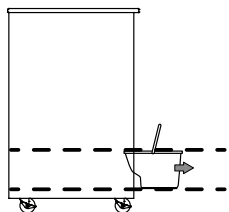
差し込みが不十分な場合、汚水タンクを検知せず正常な運転が行われません。



※汚水タンクはユニット内のラインの内側に収まるようにセットしてください。

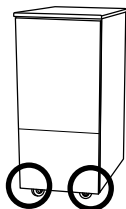
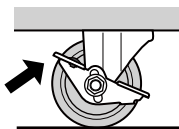
汚水タンクを真空ユニットから取り出す際は水平に取り出すこと

汚水タンクを傾けて取り出した場合、汚水がこぼれる可能性があります。



真空ユニットを移動させる場合はキャスターの固定を解除すること

固定されたまま移動させると床面を傷つける原因になります。



長期間使用しないときは、汚水タンクの中を洗浄しておくこと

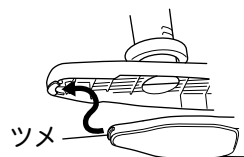
汚水が溜まったまま放置すると不衛生になります。

真空ユニット底面が汚れた場合は拭き掃除をすること

不衛生になったり、固化した汚物等が底面を傷つける原因になります。

脚部底板のツメを脚部本体の先端にしっかり差し込んで固定すること

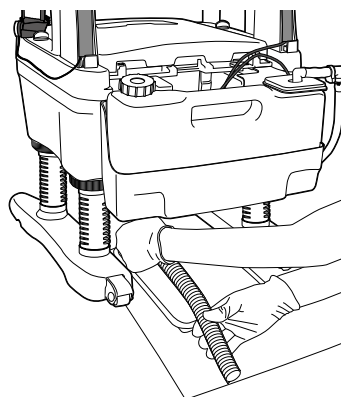
脚が破損する原因になります。



排水ホースを外す際は汚水漏れに注意すること

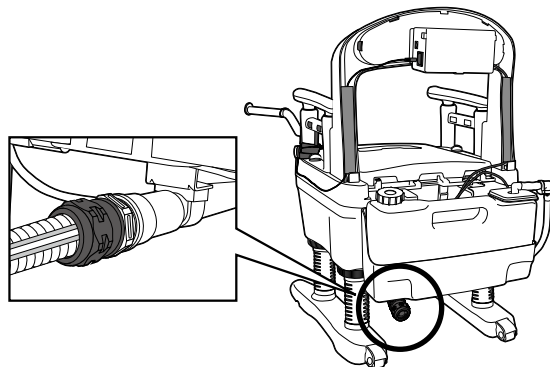
排水ホースを外すとホース内の汚水が漏れてくる可能性があります。

外す際は下にトレイ等を設置し、汚水を受けるようにしてください。



水を流す際は排水ホースを接続すること

排水ホースが接続不良の状態の水を流すと、汚水がトイレ下部のホース接続部位から流れ出ます。ホースはきちんと接続してください。



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

必ず行うこと

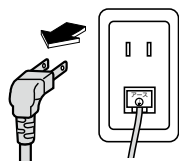
次のときは電源プラグを抜くこと



電源プラグを抜く

長期間使用しないとき、お手入れするとき（ノズルのお手入れは除く）、各部の調節をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・事故の原因になります。



長期間使用しないときは給水タンクの水を抜くこと

水が腐敗して皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

本体および真空ユニットを設置するときは床面の状態を確認すること

キャスターの跡が残る材質で、気になる場合は床面に板等を敷いてご使用ください。

凍結による破損の予防をおこなうこと

- この製品は寒冷地仕様ではありません。凍結すると給水ホースや本体内部が破損して、水漏れする原因になります。

暖房するなどして室内をあたためてください。

絶対にしないこと

たばこなどの火気類を近づけないこと



火災の原因になります。

火気禁止

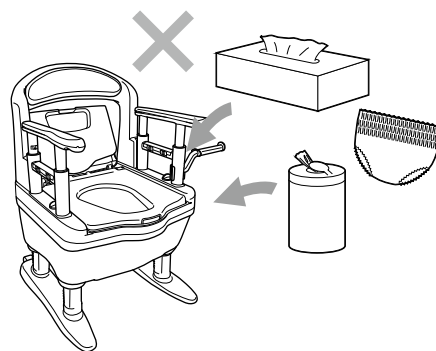
無理な段差や凹凸面では、キャスター移動をおこなわないこと

製品が破損する原因になります。



汚物・トイレトペーパー以外のものを流さないこと

配管が詰まったり、機械が故障する可能性があります。



便器蓋を便器や便座に取り付けた状態で座らないこと

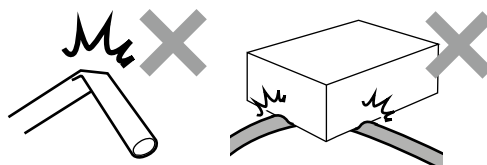
お尻に接触し、けがの原因になります。

便器蓋



排水ホース、洗浄水ホースを踏みつけたり、折り曲げたり、潰したりしないこと

水漏れや、破損の原因になります。



確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

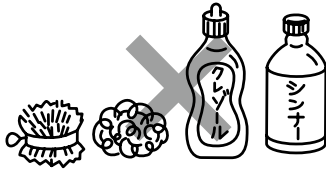
● お手入れ・保管時の注意

以下の行為を行うと、製品の变色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

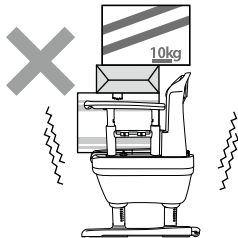
- ・シンナー ・クレンジング
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤(洗剤)をかけての殺菌、消毒
- ・タワシ ・研磨剤入りのスポンジ
- ・磨き粉 ・その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、けがの原因になります。



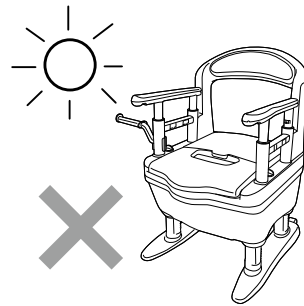
製品の上に重量物をのせた状態で保管しないこと

製品が変形し、けがの原因になります。



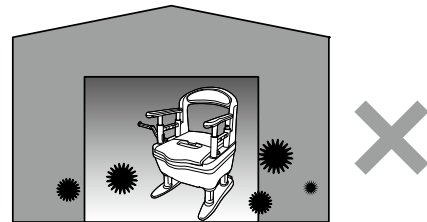
戸外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化及び变色の原因になります。



湿気が多い場所で保管しないこと

カビが発生する原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

✖ ご使用の前に

各部の調節をしましょう

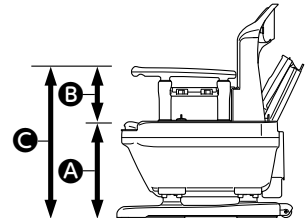
設定の目安

- ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。便座、ひじ掛けは工具を使わずに高さ調節できます。
- 排泄や移乗をおこないやすいよう、利用する方の体格に合った設定をしてください。また、調節はお買い上げのサポート店（販売店）、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。

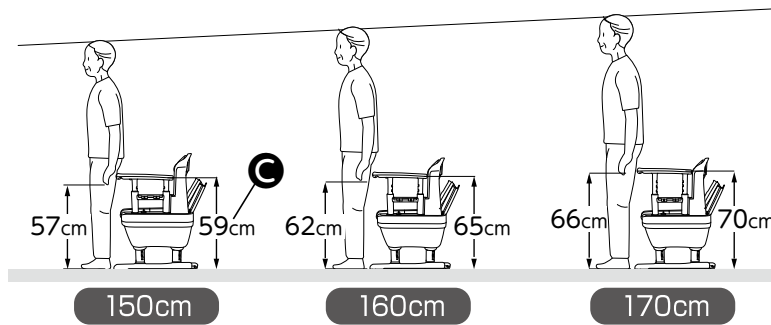


ひじ掛けをつかんで座る場合の設定目安

身長	150cm	160cm	170cm
Ⓐ 便座の高さ	35cm	38cm	40cm
Ⓑ ひじ掛けの高さ	24cm	27cm	30cm
Ⓒ 床からひじ掛け先端までの高さ	59cm	65cm	70cm



床から
手の指先まで
の距離



※上図の体格の数値はあくまで平均値であり個人差があります。最終的には本人の身体寸法を基準にしてください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ ご使用の前に

使いまししょう

お手入れしまししょう

？困ったときには

✖ ご使用の前に

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

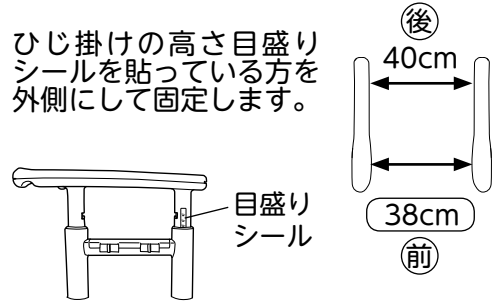
お手入れしましょう

困ったときには

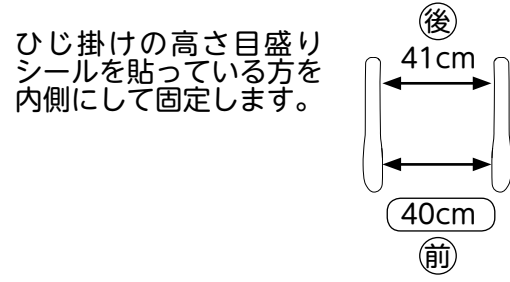
ひじ掛け内寸調節のしかた

体格や症状によって、ひじ掛け内寸（先端）38cm と 40cm の 2 種類から選べます。
（梱包時は 40cm に設定されています）

38cmに設定する場合

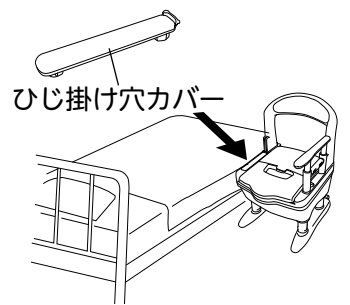
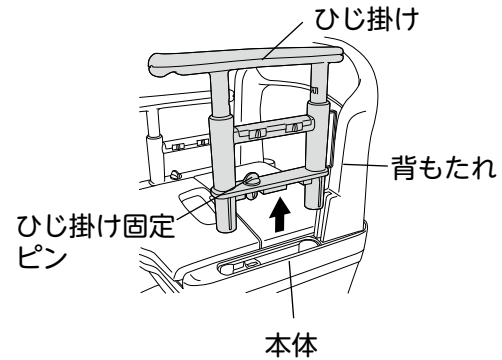
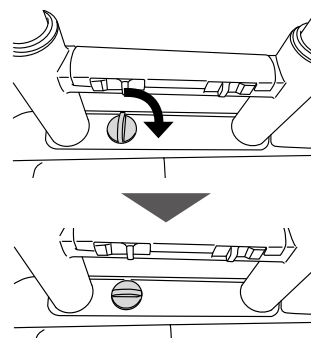


40cmに設定する場合



ひじ掛けのはずし方

- ①ひじ掛け固定ピンを 90° 回転させます。
- ②ひじ掛けを上方向へ引っ張ります。
- ③ひじ掛けを抜いた部分にひじ掛け穴カバーをつけます。



ひじ掛けの取り付けは、取り外しと逆の手順でおこなってください。

警告

ひじ掛けはひじ掛け固定ピンで必ず固定すること

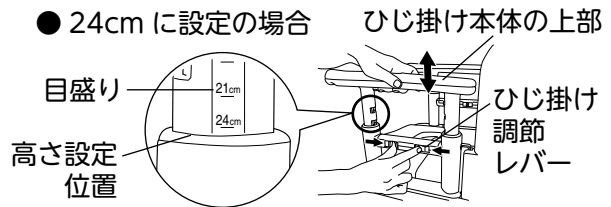
ひじ掛けが外れ、不安定になり、けがの原因になります。

ひじ掛け高さ調節のしかた

ひじ掛けの高さは、5 段階（18・21・24・27・30cm）に調節できます。
（P.13「設定の目安」の③参照）（梱包時は 18cm に設定されています）
調節の方法は以下の手順に従っておこなってください。

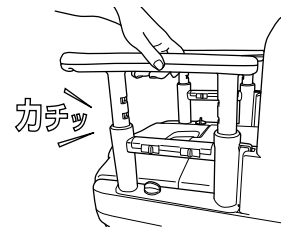
1. ひじ掛けの高さを合わせます

アシストグリップの側面にある
ひじ掛け調節レバーを図のようにつまみ、
ひじ掛け本体の上部を持って、上下に動か
しながら、設定したい高さ（ひじ掛け本体
の目盛りに合わせて）に合わせます。



2. ひじ掛けを固定します

ひじ掛け調節レバーから手を離して元の位置に戻し、
ひじ掛け本体を少し上下に動かすと、カチッという音が
して、ひじ掛けが固定されます。



3. 固定状況を確認します（完了）

最後にひじ掛けを軽くゆすり、ひじ掛けが本体にしっかりと
固定されていることを確認して完了です。



警告



ひじ掛けは 18 ～ 30cm の範囲で調節できます。
それ以外の範囲では使用しないこと

ひじ掛けを上げすぎるとひじ掛けが外れて、けがの原因になります。

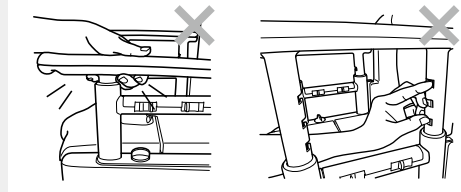
ひじ掛けの高さを調節した後、しっかりと固定されているか確認すること
ひじ掛けが固定されていないと、ひじ掛けが破損し、転倒やけがの原因になります。

注意



ひじ掛けの高さ調節時に、ひじ掛けの先端やひじ掛けの穴部を握らないこと

手指がひじ掛けの先端部とアシストグリップのすき間やひじ掛けの穴部にはさみ込まれ、けがの原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

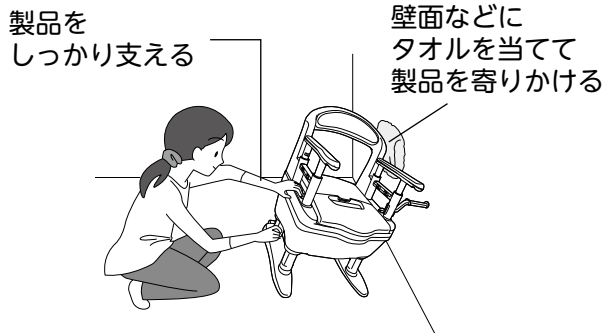
お手入れしましょう

困ったときには

✖ ご使用の前に

便座高さ調節のしかた

- 便座の高さは、35～45cmの間で調節することができます。調節の方法は以下の手順に従っておこなってください。(梱包時は35cmに設定されています)
 - 高さ調節する際は、本体を寄りかけられる場所(壁など)に、タオルを当てた状態でそっと寄りかけるか、ほかの人に支えてもらうなど、しっかり支えた状態で作業をおこなってください。
- ※高さ調節は左右片方ずつおこなってください。



注意



便座高さの調節は、必ず本体を支えた状態でおこなうこと

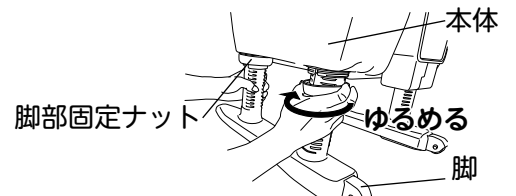
本体が転倒して破損する原因になります。

便座高さの調節は、必ず給水タンクに水や、便器に汚物がない状態でおこなうこと

本体が転倒し、水や汚物がこぼれ床などを汚す原因になります。

1. 脚部固定ナットをゆるめ、本体から脚を取り外します

脚部固定ナットは前後ともゆるめ、本体から脚部を取り外します。

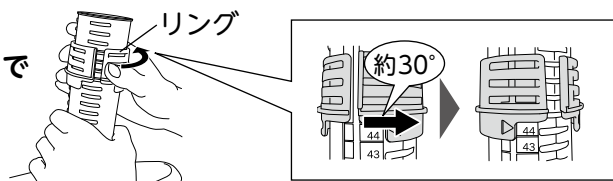


2. 脚部調節リングを回して、図のように高さを合わせます

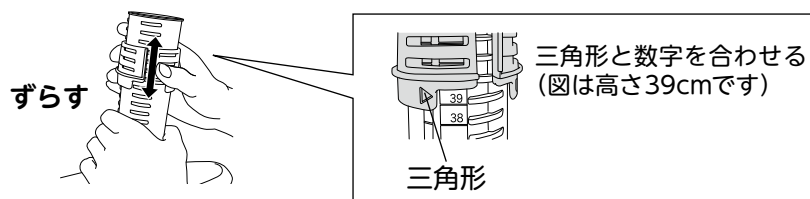
※図は左脚です。

①脚部調節リングのふちに指をかけ、右に回してください。

脚部調節リングが止まる位置までゆっくり回す(約30°)



②脚部調節リングを設定したい高さに合わせます。



確認しましょう

安全上の注意

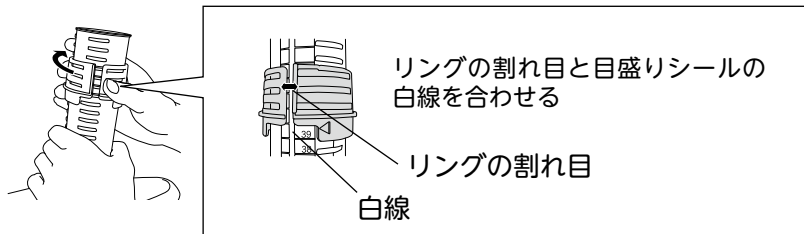
ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

③脚部調節リングを左へ回し、固定します。



④前後とも同じ高さに合わせます。

⑤脚を本体にはめ込みます。

⑥もう一方の脚も同じ高さに合わせます。

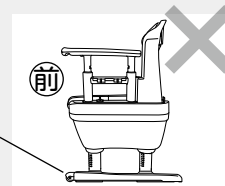
便座の角度調節をおこなう場合は…先に 20 ページへ

警告



脚部を前後左右入れ替えた状態で使用しないこと

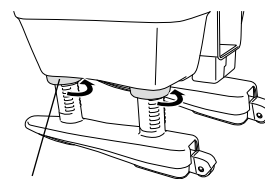
本体が不安定になり、転倒やけがの原因になります。



脚の高さが左右異なる状態で使用しないこと
本体が不安定になり、転倒やけがの原因になります。

3. 最後に、脚部固定ナットをしめて、固定します。

しっかり固定されていることを確認してください。



脚部固定ナット

警告



脚部固定ナットがゆるんだ状態で使用しないこと

本体から脚が外れ、転倒やけがの原因になります。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

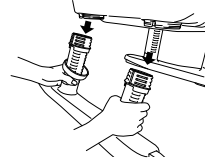
✖ ご使用の前に

便座角度調節のしかた

●脚の角度調節プレートを裏にして付け替えることで、便座が約3°前下がりになり、排泄しやすい前傾姿勢をとりやすくなります。また、尿が少し下方向に出るため、前方への尿こぼれをさらに減らすことができます。

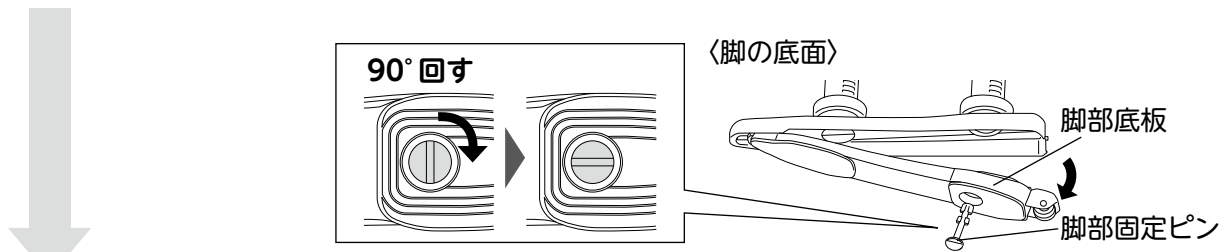


●角度調節は脚を取り外した状態でおこなうと楽にできます。

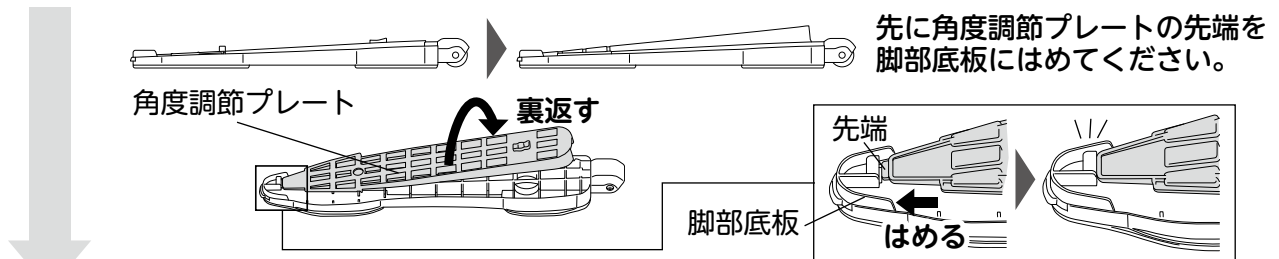


※角度調節は左右片方ずつおこなってください。

1. 脚部固定ピンを90°回して抜き、脚部底板を外します

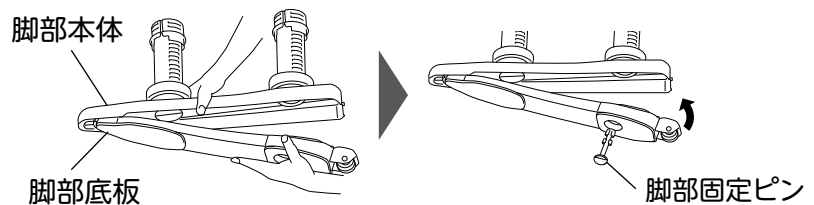


2. 脚部底板の中にある角度調節プレートを裏返してはめ直します



3. 脚部底板に脚部本体をはめて、脚部固定ピンをしめて固定します

脚部底板のツメを脚部本体にしっかり差し込み、脚部固定ピンをしめて固定します。

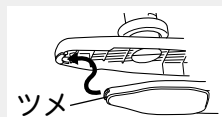


警告



●脚部底板のツメを脚部本体の先端にしっかり差し込んで固定すること

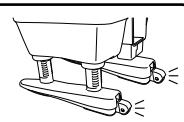
脚が破損し、転倒やけがの原因になります。



●角度調節プレートを外した状態で使用しないこと



左右の脚の角度が同じになっているか、確認しましょう



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

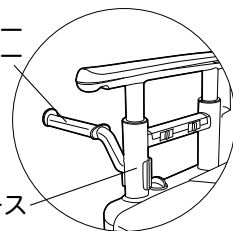
困ったときには

ペーパーホルダーを取り付けましょう

図のように取り付けてください。

ペーパーホルダーはひじ掛けベースの支柱にお好みの角度で取り付けることができます。使いやすい位置に取り付けて、トイレトペーパーをセットしてください。

ペーパーホルダー



ひじ掛けベース

確認しましょう

安全上の注意

使用前の注意

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

便座シートを取り付けましょう

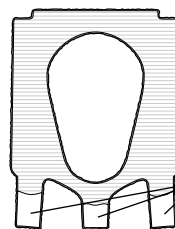
1. 便座のホコリなどを拭きとります

便座のホコリや水気、汚れなどをよく拭きとります。

※便座に除菌クリーナーを使用された場合は、一旦水拭きし、乾かしてからご使用ください。
(吸着力が弱くなります)

2. 保護フィルムをはがします

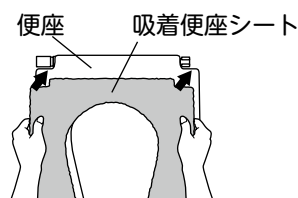
吸着便座シート裏面の保護フィルムをはがします。



保護フィルムが残る場合があります。完全にはがしてください。

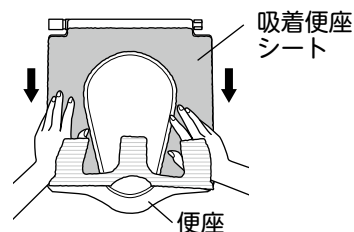
3. 便座に吸着便座シートを合わせます

便座後側の角部に吸着便座シートの角部を図のように合わせます。



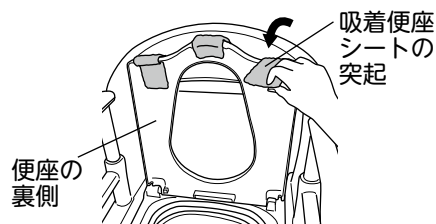
4. 吸着便座シートを便座に貼りつけます

便座上面に沿わせるようにして吸着便座シートを便座に貼りつけます。



5. 吸着便座シートを便座の裏面に巻き込み、貼りつけます

- ①便座を上げます。
- ②吸着便座シートの突起を図のように便座の裏側に巻き込み、突起を便座の裏側に貼りつけます。



便座を本体から外して、吸着便座シートを取り付けることもできます。

便座の取り外し方は…P. 37へ

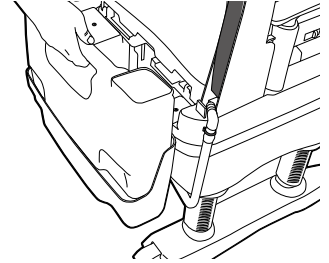
✖ ご使用の前に

給水の準備をしましょう

給水タンクとタンクトレーの設置のしかた

※給水タンクは梱包（大）に入っています。

本体後方についているタンクトレーへ給水タンクを開いている四角い口が右側になるように入れます。

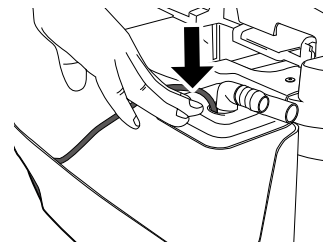
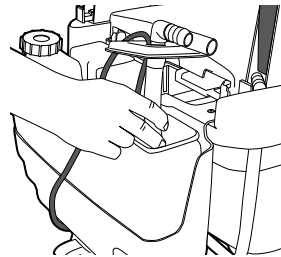


給水の配管、配線のしかた

1. 洗浄水ポンプをセットしましょう

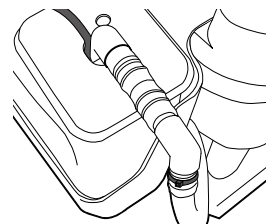
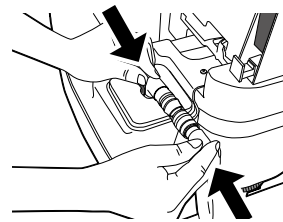
※洗浄水ポンプは緩衝材梱包に入っています。

フタから出ている配管が右側を向くように給水ポンプを給水タンクに入れて、フタを閉めます。
(上から力を加えて嵌めこんでください)



2. 洗浄水ポンプと洗浄水配管を接続しましょう

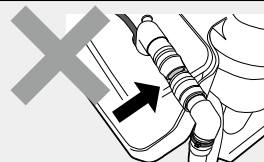
- ① トイレ本体後方下部から出ている洗浄水配管と洗浄水ポンプを接続します。



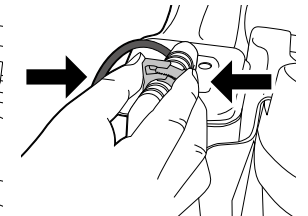
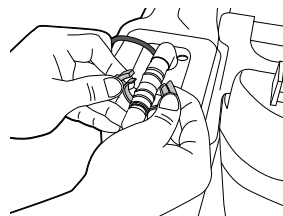
注意



洗浄水ポンプと洗浄水配管は隙間なく接続すること
水漏れの原因になります。



- ② 配管用クリップで配管を固定します。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

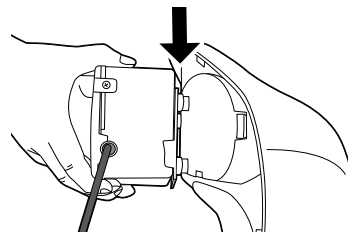
困ったときには

4. 表示基板を取り付けましょう

※表示基板は緩衝材梱包に入っています。

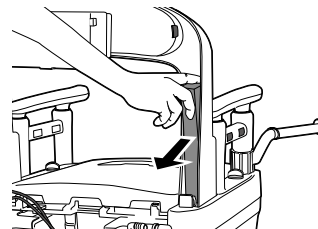
表示基板をトイレ本体背もたれ後部のブラケットに取り付けます。

表示基板の左右のツメがブラケットに入っていることを確認してください。

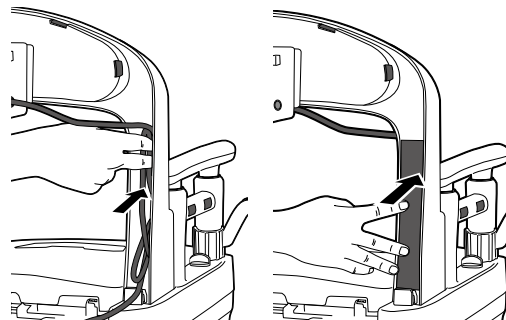


5. 洗浄水配線をトイレ本体に入れましょう

①背もたれ後部右側にある配線目隠し部材を取り外します。



②背もたれの隙間に配線を入れ、配線目隠し部材で蓋をします。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使しましょう

お手入れしましょう

困ったときには

✖ ご使用の前に

排水の準備をしましょう

※屋外仕様の設置には排水工事が必要です。
必ずサポート店(販売店)または当社指定工事店へご相談ください。

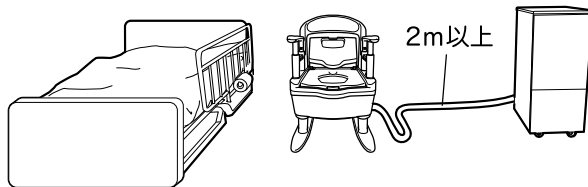
排水の配管、配線のしかた

※室内仕様・屋外仕様共通

1. トイレ本体と排水ホースの配置を決めましょう

トイレ本体と真空ユニットの位置を決めて、真空ユニットからトイレ本体背面までを繋ぐように排水ホースを仮設置してください。

※排水ホースは2m以上床面に接するように配置してください。
排水ホースは曲げ半径が10cm以下にならないように注意してください。



警告



排水ホースは移動の妨げにならないように配置すること
転倒やけがの原因になります。

注意



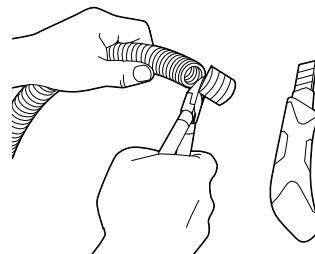
排水ホースは2m以上床面に接するように配置すること
正常に排水できず、故障の原因になります。

2. 排水ホースの長さを決めましょう

トイレ本体と排水ホースの配置を決め、排水ホースの余った部分を切断します。

※樹脂部分はカッターナイフ、金属部分はニッパーで切断してください。

※真空ユニットへの取り付け用に40cm程度長さに余裕をもたせてください。
また、ホースは直角に切断してください。



警告



ホースを切断するときは、ホースや工具で手を切らないように注意すること

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

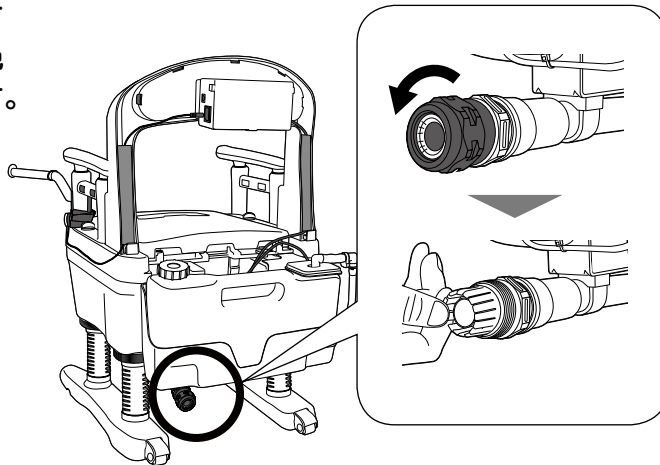
お手入れしましょう

困ったときには

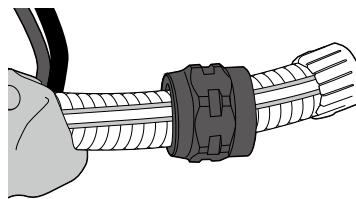
3. 排水ホースをトイレに接続しましょう

- ① トイレ本体下部のホース接続部についている黒色の排水ホース固定ねじと、白色の排水ホース用パッキンを取り外します。

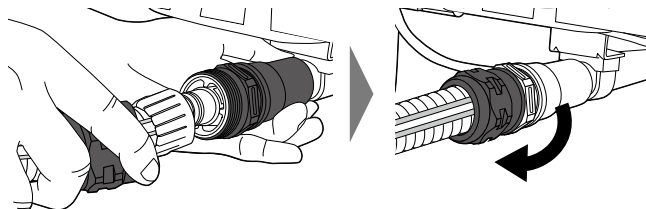
※排水ホース用パッキンは端を持って少し外側へ広げるように引っ張ると外れます。



- ② 取り外した排水ホース固定ねじを図のように取り外す前と同じ向きでホースに通し、排水ホース用パッキンを先端に取り付けます。

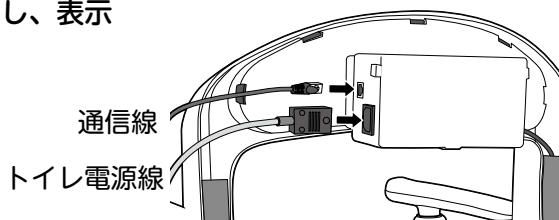


- ③ 部品をとりつけたホースを排水ホース受け口に奥まで差し込んでから、工具は使わず片手で排水ホース固定ねじを締め込みます。



4. 配線をトイレに接続しましょう

排水ホースに添わせて、トイレ電源線、通信線を配線し、表示基板の側面にある接続部に奥まで挿しこみます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

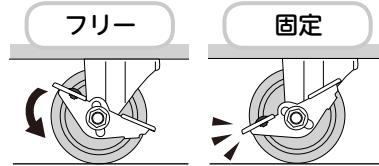
✖ ご使用の前に

※真空ユニット室内仕様をご購入の方のみ、以下の項目もおこなってください。

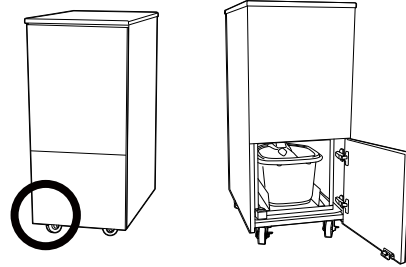
真空ユニット室内仕様の準備をしましょう

1. 真空ユニットのキャスターを固定して前扉を開けます

①真空ユニットのキャスターを固定してください。

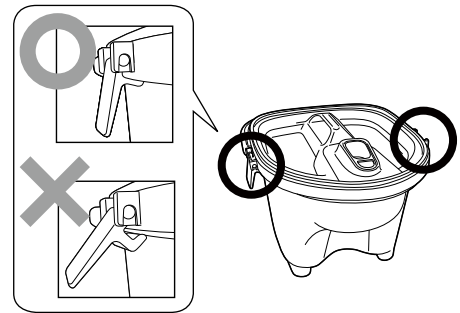


②前扉左下内側についているロックを手前に引き、解除して前扉を開けます。



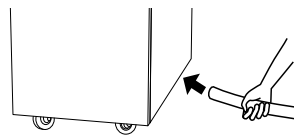
2. 汚水タンクを確認しましょう

汚水タンクを固定しているテープをはがして取り出し、フタがきちんとしてまっていること確認します。

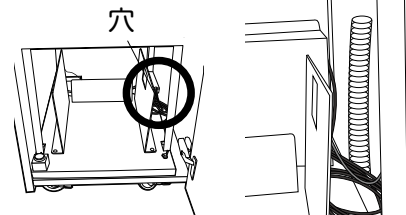


3. 排水ホースを真空ユニットに接続しましょう

①通信線などが出ている、真空ユニットの右側面下部にある穴から、排水ホースを真空ユニット内部へ引き込みます。

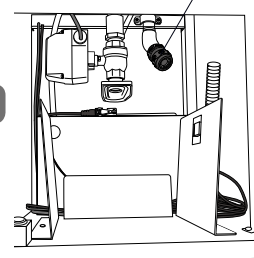


ユニット内部



②汚水タンクのセット位置上部にあるホース接続部に引き込んだ排水ホースを接続します。

ホース接続部



←ホースの接続方法は…P.25「3. 排水ホースをトイレに接続しましょう」へ

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

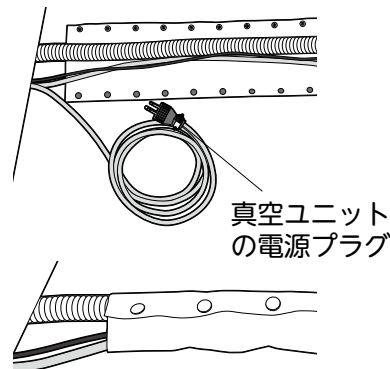
使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

4. 排水ホースと配線をホースカバーで包みます

排水ホース、通信線、トイレ電源線をホースカバーで包み、カバーのボタンを止めます。
(真空ユニットの電源プラグは入れないでください。)
余ったホースカバーはハサミで切断してください。



警告

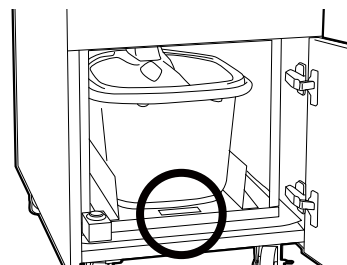


ホースカバーを切断するときは、工具で手を切らないように注意すること
けがの原因になります。

5. 汚水タンクをセットしましょう

汚水タンクを真空ユニットにセットし、前扉を閉めます。

※汚水タンクはユニット内のラインの内側に収まるようにセットしてください。



警告



真空ユニット室内仕様は、移動させるとき以外はキャスターを固定すること
製品が不意に移動し、転倒や怪我の原因になります。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用前に

使いましょ

お手入れしましょ

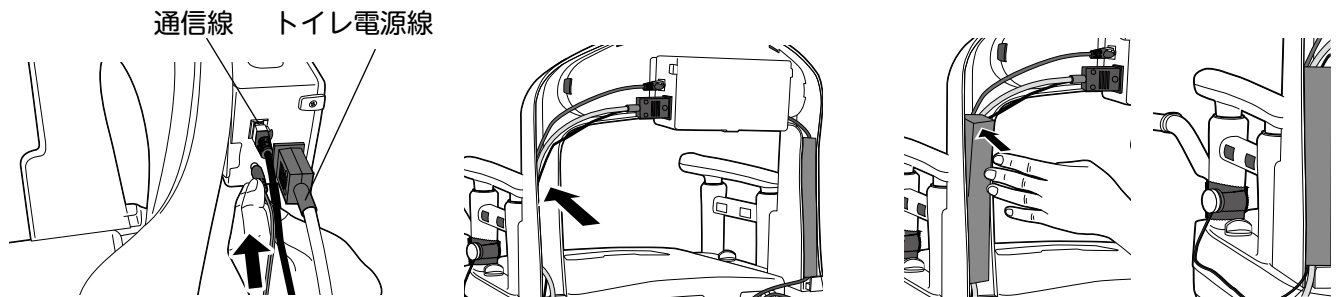
？困ったときには

✖ ご使用の前に

水洗スイッチの準備をしましょう

水洗スイッチの接続のしかた

- ①水洗スイッチを取り出し、プラグを表示基板側面の接続部に挿しこみます。
- ②背もたれ後部左側にある配線目隠し部材を取り外し、背もたれの隙間に表示基板に接続している配線を全て入れ込みます。
- ③配線目隠し部材を元に戻し、水洗スイッチを左右のひじ掛け本体などに取り付けてください。

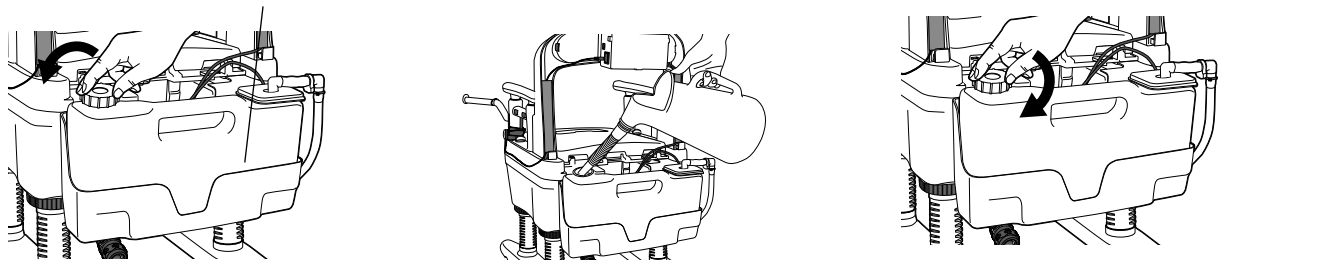


給水タンクに水を入れましょう

給水タンクへの給水のしかた

給水タンクには約5リットル水を入れることができます。
(使用回数の目安：約6回分)

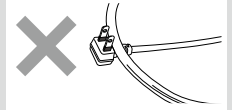
- ①向かって左側の洗浄水ポンプが差し込まれていないキャップを外します。
- ②およそ5リットルの水を用意し、給水タンクに給水します。
- ③キャップをしめます。



警告



給水ホースと電源プラグやコンセントを接触させないこと
結露などによる、火災や感電の原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

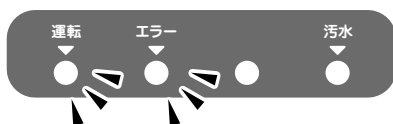
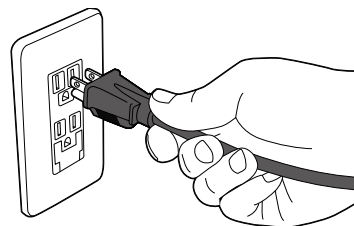
水洗の試運転をしましょう

水洗の試運転のしかた

1. 真空ユニットの電源を入れましょう

真空ユニットの電源プラグを 100V のコンセントに差し込み、アースを接続します。

電源が入ると装置が運転準備を行うため、表示基板の「運転」と「エラー」が 1 分ほど点滅します。
(その間操作はできません)



警告

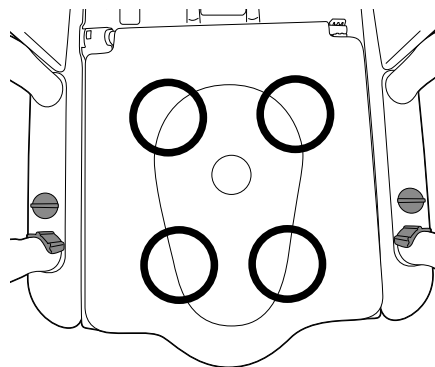


アース (D種接地) 工事がされていることを確認すること
アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電する原因になります。
アース工事はお買い上げのサポート店 (販売店) または電気工事店にご相談ください。

2. 水洗操作をしましょう

表示基板のランプがいずれも光っていない状態になったら、水洗操作が可能になります。

- ① 水洗スイッチを押して、水洗ノズル 4 ヶ所 (右図○の箇所) から洗浄水が出ることを確認します。
- ② 約 20 秒後、トイレ内部の水が排出され、封水 (トイレ内の底部に溜まる水) が溜まることを確認します。
- ③ 試運転により給水タンクの水が少なくなった場合は補給してください。



タンク容量満水の場合で約 6 回流することができます。

洗浄水が出ないときは…

初めて使用するときはスムーズに洗浄水が出ないことがあります。洗浄水配管と洗浄水ポンプを外すことで洗浄水ポンプ内の空気が抜け、スムーズに出るようになりますので、一度外した上で再度接続してください。

詳しくは…P.22「2. 洗浄水ポンプを洗浄水配管で本体に接続しましょう」へ

※再度接続しても解決しない場合は P.40 を確認してください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

使いましょう

ご使用になる前に

ご使用の前にひじ掛けや背もたれを軽くゆすり、各部にガタつきなどの異常がないか点検すること

ガタつきを感じたときは [詳しくは…P.38「点検のしかた」へ](#) を参照し対処してください。



警告



車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること

ブレーキをかけていないと、車いすが動きだし、転倒やけがの原因になります。



子どもを遊ばせる等、他の用途では使用しないこと



体重が100kgを超える方は使用しないこと

本体が破損し、転倒やけがの原因になります。



ペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと

転倒やけがの原因になります。



製品に過度な力を加えないこと

- ひじ掛けや背もたれを移動時の手すり代わりにする
- 立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- 便座・上蓋の上に立つ
- 製品を落とす
- 上蓋やひじ掛けの上に腰かける …等

製品に過度な力を加えると、破損し、転倒やけがの原因になります。



介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと

転倒や、けがの原因になります。

ふらつきがある方など



注意



ペーパーホルダーにはトイレトペーパー以外のものを掛けないこと
ペーパーホルダーが外れる原因になります。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

使いかた

座りかた

便座へ十分に近づき、ゆっくり座ってください。

●理想的な排泄姿勢



ひじ掛けを高く設定した場合

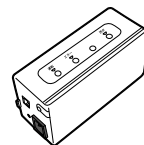
移乗時や着座中にアシストグリップを持つと、姿勢が安定します。



汚物の流しかた

表示基板のランプが点灯していないことを確認してから、水洗スイッチを押します。

ランプが点灯・点滅しているときは、消灯してから水洗スイッチを押してください。



水洗スイッチを押すと、自動的に洗浄水が流れ、同時に真空運転が開始し汚物が流れます。
※水洗スイッチを押してから吸引されるまで約20秒かかりますが、故障ではありません。



表示基板のランプが点灯・点滅している時は流れません。

注意



一度に大量のトイレトペーパーを流さないでください。
つまりなど、故障の原因になります。

※一度で流れきらなかった場合は、時間をおいてもう一度水洗スイッチを押してください。

※バリウムなど水より比重が大きいものや、汚物の種類（軽い、やわらかい、粘りが強い）によっては一度の洗浄で流れない場合があります。もう一度水洗スイッチを押しても洗い流せない場合は、樹脂製トイレ用ブラシなどで掃除をしてください。

※使用時に水はねが発生することがあります。トイレの底に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため、構造上避けられない現象です。

※数日間使用しないときは、配管内を衛生的に保つため、汚物のない状態で数回水洗操作を行ってください。

※万が一、つまりが発生した場合はP.40「故障かな?と思ったら」を確認してください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

使いましょう

本体の状態確認

表示基板のライトは、色と光る場所でポータブルトイレの状態を表示しています。

表示基板



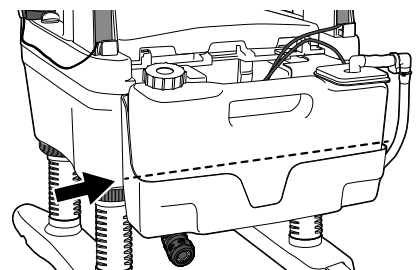
(汚水 LED は室内仕様のみ点灯します)

表示内容				運転状態	解決の方法
運転 LED緑	エラー LED赤		汚水 LED赤		
○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	運転待機中です。	-
●⇄○ 点滅	○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	正常運転中です。 (水洗動作を行っています。)	(動作中はボタン操作はできません)
●⇄○ 点滅	●⇄○ 点滅	○ 消灯	○ 消灯	運転準備中です。	(動作中はボタン操作はできません)
○ 消灯	●⇄○ 点滅	●⇄○ 点滅	○ 消灯	システムに不具合が生じていないか確認を行っています。	そのまま1分程度お待ちください。
○ 消灯	●⇄○ 点滅	○ 消灯	○ 消灯	システムに不具合が生じているため一時停止中です。	水洗スイッチを5秒以上押してください。 詳しくは…P.40「困ったときには」へ
○ 消灯	● 点灯	○ 消灯	○ 消灯	真空ユニットのエラーか通信エラーが起きています。	詳しくは…P.40「困ったときには」へ
○ 消灯	● 点灯	○ 消灯	● 点灯	汚水タンクがきちんとセットされていません。(室内仕様のみ)	汚水タンクを正しくセットしてください。
○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	● 点灯	汚水タンクが満水です。(室内仕様のみ)	汚水タンクが満水です。汚水を捨ててください。
○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	●⇄○ 点滅	運転回数が6回に到達しています。(室内仕様のみ)	運転回数が上限に達しています。汚水を捨ててリセットボタンを押してください。
●⇄○ 点滅	●⇄○ 点滅	●⇄○ 点滅	●⇄○ 点滅	メンテナンスモード、冬季水抜き運転モードです。 詳しくは…P.35「1. 排水ホースを取り外して水抜きをします」「冬季水抜き運転のしかた」へ	空運転を行わない場合はそのまま1分間お待ちいただくか、水洗スイッチを5秒間以上押してください。
● 点灯	●⇄○ 点滅	●⇄○ 点滅	●⇄○ 点滅	空運転(水抜き運転)、冬季水抜き運転中です。 詳しくは…P.35「1. 排水ホースを取り外して水抜きをします」「冬季水抜き運転のしかた」へ	少々お待ちください。運転終了後自動で運転待機中モードになります。(動作中はボタン操作はできません)
●⇄○ 点滅	○ 消灯	● 点灯	○ 消灯	真空ユニットのカートリッジ交換をお勧めします。	水洗操作が終わると自動消灯します。そのままお使いいただけますが、カートリッジの交換を推奨します。詳しくはサポート店(販売店)へお尋ねください。

給水のタイミング

給水操作は任意のタイミングでしていただいて問題ありませんが、給水タンクの水が給水線を下回る前に必ず給水を行ってください。

詳しくは…P.28「給水タンクへの給水のしかた」へ



確認しましょう

安全上の注意

使用の前に

使いましょう

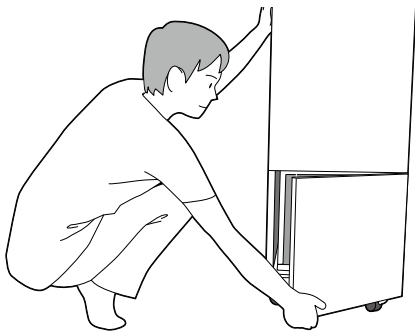
お手入れしましょう

困ったときには

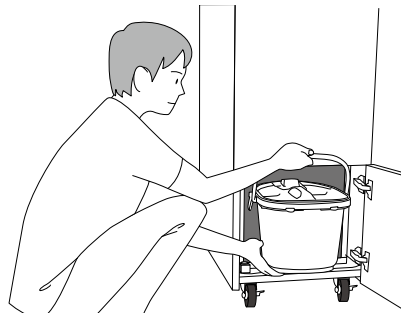
汚物処理のしかた (室内仕様の場合のみ)

室内仕様の場合、6回排水作業を行うと自動的にそれ以上流れなくなります。


- ①真空ユニットの前扉を開けます。
(表示基板の運転ランプ点滅中は前扉を開けないでください)



- ②真空ユニットの中に入っている汚水タンクの柄を持ち水平に取り出します。(6回使用の場合、重量は6kg程度になります)




注意



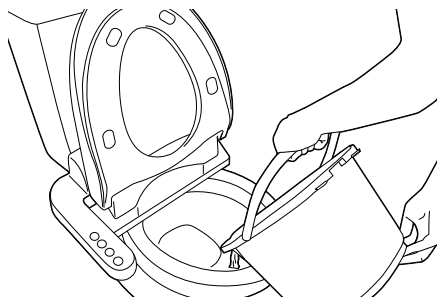
【真空ユニット 室内仕様の場合】
汚水タンクを真空ユニットから取り出す際は前面パネルを引っ張らないこと
前面パネルを引っ張ると、パネルが外れて転倒やけがの原因になります。

警告

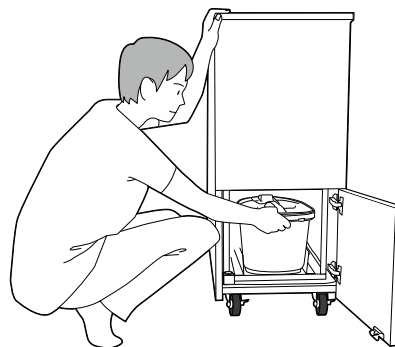


汚水タンクを運搬するときは、汚水タンクの柄を持つこと
ふたを持って運搬すると、ふたが外れて怪我の原因になります。

- ③汚水タンクのふたを開け、汚水を既設のトイレに流してください。

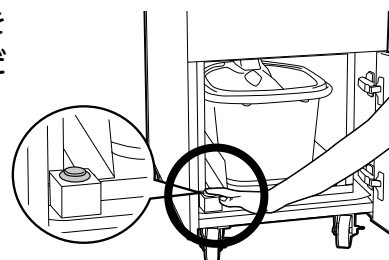


- ④汚水タンクのふたを閉めて、逆の手順で真空ユニットに収納してください。



※汚水タンクはユニット内のラインの内側に収まるようにセットしてください。

- ⑤真空ユニットの前扉を開け、左下に設置してあるリセットボタンを一度押し、ピッという音が鳴ったことを確認し、前扉を閉じてください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

❤️ 使いましょう

こんな使い方ができます

ひじ掛けを片側外して使用できます



座ったまま移乗したい方におすすめです

- ベッドに横付けして座った状態で移乗する場合は、ベッド側のひじ掛けを取り外してお使いいただくことができます。

詳しくは…P.16「ひじ掛けのはずし方」へ

※ひじ掛けはどちらか片方は必ず取り付けてください。

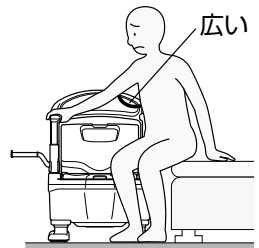
- また、移乗時にアシストグリップを使うと、腕に力が入りやすく、スムーズに移乗しやすくなります。

アシストグリップ



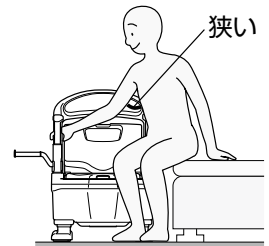
ひじ掛けの上をつかむと

ひじ掛けの上をつかむと、ワキが開いて力が入りにくい。



アシストグリップをつかむと

ワキが閉まり、力が入りやすく、重心移動がスムーズになります。

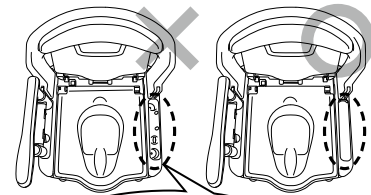


注意



片側のひじ掛けを外して使用する場合は、ひじ掛けを差し込んでいた部分の穴が見えている状態で使用しないこと

お尻や手指が入り込み、けがの原因になります。本体のひじ掛け差込部にひじ掛け穴カバーを取り付けてください。



穴が見えている

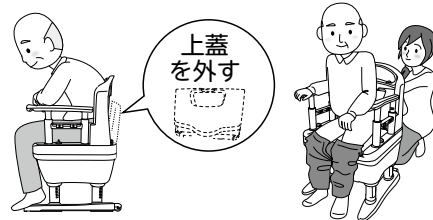
上蓋を外して使用できます



円背の方や後方からケアしたい場合におすすめです

- 着座時に上蓋が背中に当たったり、後方からお尻をケアする場合など、上蓋が不要なときは、取り外すことができます。

外しかたは…P.37「1. 上蓋を取り外しましょう」へ



確認しましょう

安全上の注意

使用前の注意

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

便器蓋を便座の上ののせてフタをすることができます

- 上蓋を外した場合や、上蓋の開閉動作が難しい場合は、便器蓋を便座の上ののせてフタをすることができます。

※便器蓋が汚れている場合は、洗ってからご使用ください。



上蓋の開閉が難しい場合におすすめです

便器蓋



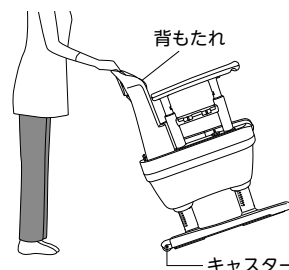
ポータブルトイレの移動のしかた

1. 排水ホースを取り外して水抜きをします

- ①ポータブルトイレ背部にあるトイレ電源線を抜きます。
- ②水洗スイッチを押したまま再度トイレ電源線を差し込み、さらに5秒間以上水洗スイッチを押し続けます。(この時水洗スイッチは押し続けてください)
- ③表示基板のLEDがメンテナンスモードに入ったことを確認し、水洗スイッチから手を離し、再度水洗スイッチを押して空運転を行ってください。
- ④トイレ内部の水(封水)が空になったことを確認し、洗面器などを設置した上で排水ホースを取り外します。
- ⑤汚水漏れを防ぐために、ホースの継手部分をビニール袋などで包みます。

2. 移動させます

背もたれを持ち、本体を斜めに傾け、キャスターを床につけて、ゆっくり移動させてください。



警告



本体を移動させるときは、ペーパーホルダーを持たないことが、故障、破損の原因になります。

物をのせたまま移動させないこと

- ・人や物を座らせたまま移動させる
- ・給水タンク内に水や、便器内に汚物を入れたまま移動させる
けが、故障、破損、服や床を汚す原因になります。



冬季水抜き運転のしかた

- ①水洗スイッチを10秒間以上押し続けます。
(この時、水洗スイッチは押し続けてください)
- ②表示基板のLEDが全て点滅している(冬季水抜き運転モード)ことを確認したら、水洗スイッチから手を離し、5秒以内に再度水洗スイッチを押して冬季水抜き運転を行ってください。
- ③連続3回トイレ内の水が排水され、最後にトイレ内部の水(封水)が溜まったことを確認してください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

🔴 お手入れしましょう

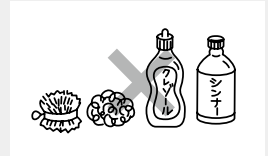
お掃除のしかた

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

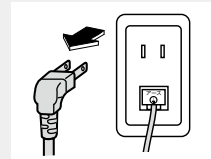
- ・シンナー ・クレンジング ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・塩素系薬剤（洗剤）をかけての殺菌、消毒 ・タワシ
 - ・研磨剤入りのスポンジ ・磨き粉 ・その他製品を傷つけるもの
- 製品が劣化し、けがの原因になります。



電源プラグ
を 抜 く

次のときは電源プラグを抜くこと

長時間使用しないとき、お手入れするとき、製品を移動させるときや、各部の調節をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・事故の原因になります。



ポータブルトイレ本体のお手入れ方法

- いつまでも気持ちよくお使いいただくために、こまめに汚れを落としてください。
- 汚れはスポンジかやわらかい布に、住宅用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。
ただし、ひじ掛けと脚は水ぶきのみとってください。
- 便器内の汚れは樹脂製トイレ用ブラシなどで掃除してください。



汚れが気になる場合は

給水タンク、タンクトレー、ひじ掛けカバーは、本体から取り外し、水洗いすることができます。各
部品の取り外し方法を参照し取り外してください。

真空ユニット 室内仕様のお手入れ方法

汚れたときはスポンジか柔らかい布に、住宅用洗剤（中性）をふくませてふきとってください。
汚水タンクは取り外して水洗いもできます。

確認しましょう

安全上の注意

使用前の

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

上蓋・便座・受け板のお手入れ方法

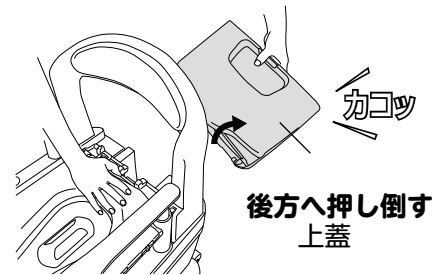
上蓋、便座、便器蓋は取り外して水洗いすることができます。

以下の手順で取り外してください。

※便器蓋を便座の上に置くときは、洗ってからご使用いただくことをおすすめします。

1. 上蓋を取り外しましょう

上蓋を二つ折りにして、図のように便座を押さえながら、後方に押し倒します。

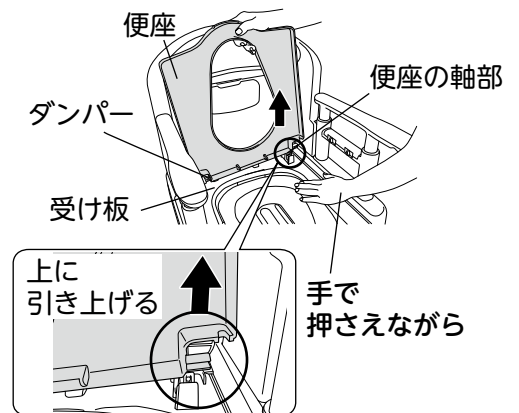


2. 便座を取り外しましょう

便座を上げて、受け板を手で押さえながら、図のように便座の右側を上へ引き上げ、軸部を外します。



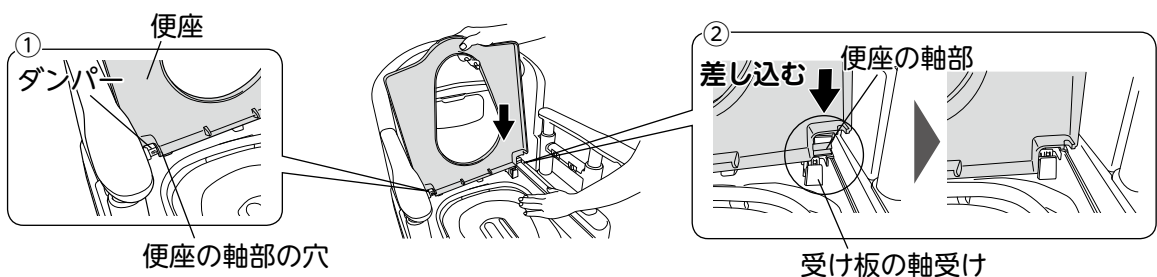
ダンパーが外れた場合は、33ページ「よくあるご質問」をご参照の上、取り付けてください。



お手入れが終わったら、受け板、便座、上蓋の順に設置します。

●便座の取り付けかた

- ①ダンパーを便座の軸部の穴に差し込みます。
- ②便座の軸部を受け板の軸受けに上から押し込みます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

🔍 お手入れしましょう

点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスをおこなってください。

お手入れして取り付けした後や、調節の後、ご使用になる前に、各項目を確認してからご使用ください。

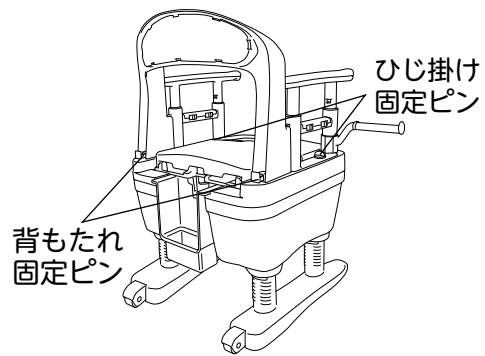
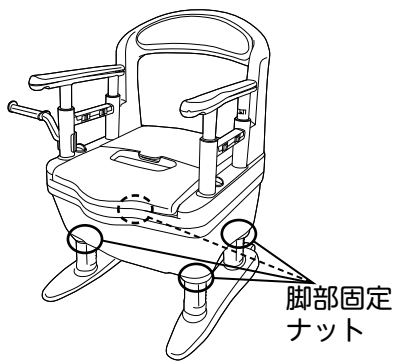
下記の点検をおこなった時に不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げのサポート店（販売店）や弊社「お客様相談室（フリーダイヤル：0120 - 86 - 7735）」までご相談ください。

ご使用の前にひじ掛けや背もたれを軽くゆすり、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること



・脚部固定ナット → ゆるむ×

・ひじ掛け固定ピン
・背もたれ固定ピン → 外れる×



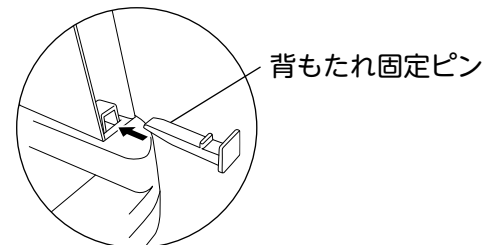
ナットがゆるんでいる場合は…18 ページを参照して、しめ直してください。

ひじ掛け固定ピンが外れている場合は…16 ページを参照して固定してください。

背もたれピンが外れている場合は…下記を参照して、固定してください。

背もたれ固定ピンの取り付け方法

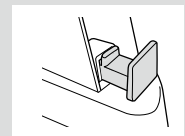
背もたれの両支柱の後側から背もたれ固定ピンを差し込みます。



警告



背もたれ固定ピンで背もたれを必ず固定すること
背もたれが外れ、不安定になり、けがの原因になります。



確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

🔍使いまししょう

🔍お手入れしまししょう

？困ったときには

? 困ったときには

停電時の対応

トイレ使用時に停電になった場合、落ち着いて以下の行動をとってください。

水洗時の停電

停電でトイレを流すことができない場合は汚物の臭い漏れ防止に蓋をしてください。

※便器蓋は便座の上から載せることができます。



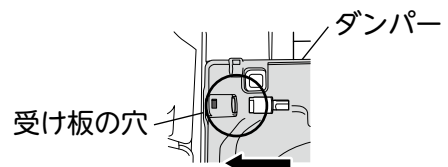
よくあるご質問

Q 便座のダンパーが外れてしまい、戻しかたがわかりません。

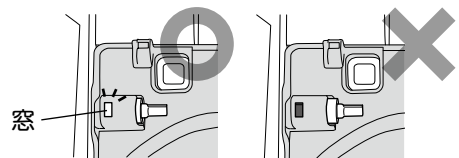


A. 以下の手順で取り付けてください。

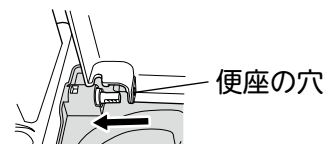
①受け板の穴に、まっすぐ差し込みます。



②穴の窓から、ダンパーの白い部分が見えるまで、しっかり差し込みます。



③ダンパーに便座の穴を合わせて差し込みます。



確認しましょう

安全上の注意

使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

？ 困ったときには

故障かな?と思ったら

万一、故障かなと思われることがありましたら、修理を依頼される前に、この表をよくお読みの上お確かめください。

これらの処置を行っても改善されない場合は、ただちに使用を止め、電源プラグを抜き、弊社「お客様相談室」(☎ 0120-86-7735) までご相談ください。

症 状	確認するところ	処 置	参 照 ページ
洗浄水が出ない	・給水タンクの水が少なくなっていますか	・給水タンクに水を入れる。	28
	・洗浄水配管の中は洗浄水で満たされていますか	・洗浄水配管と洗浄水ポンプを外し、再度接続して水洗スイッチを押す。	22
	・洗浄水配管は折れ曲がっていませんか	・洗浄水配管を伸ばす。	—
	・洗浄水配管が接続されていますか	・洗浄水配管と洗浄水ポンプを接続する。	22
汚物がトイレ内に付着している	・汚物は洗浄水のかかる場所に残っていますか	・洗浄水がかかる場合 →再度水洗スイッチを押す。 ・洗浄水がかからない場合 →ペットボトル1本分(500cc)の水を汚物が残っている場所にかけて、水洗スイッチを押す。 ※異物(ウェットティッシュなど)が残っている場合は取り除いてください。	—
水が漏れる	・トイレ本体とホースの接続がきちんとされていますか	・ホースを奥まで差し込み、部材をしっかりと締め込む。	25
汚物が吸引されない (汚物が詰まった場合)	・エラーランプが点灯していますか	・エラーランプが点灯していない場合 →再度水洗スイッチを押す 便器内部が汚水でいっぱいの場合には水抜き(P.35)をおこなってください。 ・エラーランプが点滅・点灯している場合 →同表の「エラーランプが点滅している」あるいは「エラーランプが点灯している」症状の項目を確認してください。	35
異音がしている	・真空ユニットやトイレから異常な音がしていませんか	・エラーランプの点灯・点滅の有無を確認し、真空ユニットの電源を抜いて「お客様相談室」までご相談ください。	—
エラーランプが点滅している	・異物(尿パッドなど)が便器部分で詰まっていますか	・異物を取り除いた上で、水洗スイッチを5秒以上押し、エラーランプ点滅が消えたことを確認したら再度水洗スイッチを押してください。	—
	・上記以外の場合 (詰まりが発生していない場合)	・①水洗スイッチを5秒以上押し ②その後ペットボトル1本分(500cc)の水を便器内に注ぎ、水洗スイッチを押す ③操作②を3～4回繰り返す その後、エラーランプが点滅・点灯しなければ問題ありません。 再度エラーランプが点灯した場合は、「お客様相談室」までご相談ください。	—
エラーランプが点灯している	・通信線などが抜けかかっていますか	・一度真空ユニットの電源を抜き、再度通信線をきちんと差し、電源を入れてください。	25
	・上記以外の場合 (通信線が適切に差し込まれている場合)	・一度真空ユニットの電源を抜き、「お客様相談室」までご相談ください。	—

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めのサポート店（販売店）へ
商品の仕様などに関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げのサポート店（販売店）にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の

月～金 9:00～17:00

(12:00～13:00 は除く)

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前の

使いましょう

お手入れ

困ったときは

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げのサポート店(販売店)にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げのサポート店(販売店)に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、サポート店(販売店)の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) 消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
 - 8) 弊社が定める施工手順書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
 - 9) 金属の腐食しやすい環境(海岸付近、温泉地など)に起因する不具合。
 - 10) 日常のお手入れ箇所(フィルターなど)の摩耗・劣化による不具合。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 電気部品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
7. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(個人情報の取扱いについて)

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒
	ご芳名 TEL
★サポート店 (販売店)	住所 〒
	店名 TEL

この保証書はご使用できません

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちに買い上げのサポート店(販売店)にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げのサポート店(販売店)からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

- 製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)



アロン化成株式会社

新事業開発部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/sinjigyô/>